

別表 企画提案書の評価基準及び評価点

1 業務実績 (第2号様式)

評価項目		評価点				
		A	B	C		
(1) 同種・類似業務に関する実績						
①	実行委員会事務局運営に関する業務の実績について	10	5	0		
②	広報宣伝業務に関する業務の実績について	10	5	0		
③	表彰式、上映会等に関する業務の実績について	10	5	0		

- A 本業務と大半が類似した業務の実績がある。
 B 本業務と一部類似した業務の実績がある。
 C 本業務と類似した業務ではない、本業務と類似した事業の実績がない。

2 企画提案 (第3号様式及び第4号様式)

評価項目		評価点				
		A	B	C	D	E
(1) 企画提案内容						
【京都映画賞の運営について】						
①	(別添) 京都映画賞の概要に掲げた概要等を踏まえ、京都映画賞として相応しい事業の企画が提案できているか。また、事業の実施手法は、効果的かつ実現可能な提案がなされているか。	20	16	12	8	4
【賞に関するPRについて】						
②	優秀スタッフ賞受賞者の技術の継承や人材育成に関する効果的な広報・宣伝手法が取られているか。	20	16	12	8	4
③	奨励賞の応募につながる効果的な広報・宣伝手法が取られているか。	20	16	12	8	4
【選考・表彰について】						
④	選考から表彰まで、スケジュールに基づき円滑かつ確実に実施可能な提案となっているか。	20	16	12	8	4
【交流会・上映会・受賞作品のPRについて】						
⑤	交流会や上映会、受賞作品のPRにおいて、受賞者への幅広い支援を企画するなど、京都映画賞の魅力を高める取組となっているか。	20	16	12	8	4
【受託者が提案する効果的な事項(独自提案)について】						
⑥	本事業の目的達成のための有効な独自提案か。(ただし、提案限度価格内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。)	20	16	12	8	4
(2) 業務執行体制						
	・本業務執行のために適切な人員配置及び役割分担が妥当か。 ・進捗確認など実行委員会との連絡・調整が速やかに行える体制となっているか。 ・問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	15	12	9	6	3
(3) 趣旨の理解						
	提案が本業務の目的を十分に理解した内容となっているか。	10	8	5	3	1

- A 極めて優れている。 B 優れている。 C 妥当
 D やや不十分 E 不十分

3 見積金額 (第5号様式)

評価項目	評価点				
	A	B	C		
見積金額	20	10	5		

- A 最低価格 B 最低価格との差が10%未満
 C 最低価格との差が10%以上

4 京都市公契約基本条例との関係 (第2号様式)

評価項目	評価点				
	A	B			
本市区域内に本店又は主たる事務所を有する中小企業者かどうか。	5	0			

- A 該当する B 該当しない